

平成27年度 御宿町地域公共交通会議 (千葉県御宿町) (地域内フィーダー系統確保維持事業)

地域の公共交通の現況

御宿町は都市部からの転入者が多いことから、人口減少率は近隣市町と比べ緩やかに推移しているが、65歳以上の人口比率は高まりをみせ、高齢化率は千葉県内1位である。このような状況のなか、御宿町内を移動・循環する手段はタクシーのみであり、高齢者等の移動が困難となっている地域が生じているところである。
また、路線バス(JR御宿駅とJR勝浦駅を結ぶ)の利用者も減少傾向である。

事業の目的・必要性

高齢化が県内トップである状況や自動車免許証の返納も増加傾向にある状況などから、高齢者の移動手段の確保は大きな課題となっている。また 都市部からの移住者(2地域居住含む)が増加していることから、生活圏域の広域化等により町民の移動ニーズは多様化しており、こうしたニーズに対応した公共交通ネットワークの構築が急務となっている。

このような状況の中、地域のニーズに合った交通サービスを将来にわたり確保・維持するため、地域内フィーダー系統確保維持事業を実施する。

事業の概要

地域間交通を確保・維持する取組みとして、町内全域をカバーする乗合運行(デマンド型)を地域内フィーダー系統確保維持事業を平成26年10月1日から実施している。これは、ルートを決めず、運行エリア内を乗合で移動するもので、事前予約型・町内全域乗合タクシーとして運行している。

【デマンド交通「エピアミー号」】

事業者名:株式会社 小湊鉄道

運行区域:御宿町全域

運行日:月曜～日曜(年末年始のみ運休)

運行時間帯:午前8時～午後5時

運行本数:8便/日

運行車両:キャラバン10人乗り

運賃:大人300円小学生100 障害者手帳交付者200円

資料 1



半島振興対策
実施地域指定

面積	24.86km ²
人口 (H27.1.1時点)	7,858人
15歳未満	565人
	65歳以上
高齢化率	45.2%
世帯数	3,659世帯

公共交通会議開催状況

○協議会の開催状況 5回開催

- ・第1回(H26. 1. 28)
乗合運行計画(案)を協議
- ・第2回(H26. 2. 25)
・定量的な目標・効果、費用総額、利用者負担などについて協議
- ・第3回(H26. 3. 25)
ネットワーク計画について協議
- ・第4回(H26. 6. 12)
ネットワーク計画について協議(運賃設定)
- ・第5回(H27. 6. 17)
ネットワーク計画の見直し

前回の事業評価結果の反映状況

今回が初回となります。

定量的な目標・効果

【目標】

- ・1日あたりの利用者数を15人とする。
- ・運賃収入は、1,157,500円とする。

【効果】

- ①主要な公共施設をはじめ、商店や医療施設へアクセスできる公共交通サービスを提供する。
- ②民間バス及びJRといった幹線交通軸に接続する公共交通サービスを確保する。
- ③公共交通サービスの提供により徒歩では移動が困難な交通不便地域の解消を図る。
- ④公共交通機関相互のサービス水準は、「民間タクシー>デマンド>民間バス」を原則とする。

目標効果の達成状況

【御宿町全域】

利用者数：1日あたりの利用者数を13.3人（総利用者数4,796人）

運賃収入は、1,373,200円。（プラス215,700円）

- ・1日あたりの目標利用者数15人の内訳は、大人(300円10人)と子ども(100円5人)となっているが、実績はすべて大人である。よって、利用者数は目標を下回ったものの、運賃収入は目標を215,700円上回った。
- ・地域別の利用者の状況を見ると、開発地域(御宿台:都心からの移住者が多い地域)の利用者が多い。この地域は、65歳以上の移住者が多い地域であるため、地域公共交通のニーズが高い。また、中山間地域に住む方の利用も多い。本事業の実施により、高齢者の買い物や通院、幹線へ接続など、日常生活における移動手段を確保し、徒歩では移動できない地域の解消を図ることができた。
 今後は、高齢化がさらに進展することに伴い、運行内容の改善・見直しについて検討する必要がある。

アピールポイント

資料2

- ①10人乗りの車両に乗り合って運行する御宿町乗合運行は、電話予約により運行するため、無駄のない効率的な運行を図っている。
- ②住民に親しんでもらうため、乗合運行の愛称を募集し「エビアミー号」とした。(車両にペイント)
- ③土日・休日も運行しています。(休日は12月29日から1月3日)
- ④自宅(付近)まで送迎します。

今後の改善点

利用者の状況を見ると、同じ方が利用されていることが多く、通勤での利用をはじめ、買い物、通院など、日常生活において必要な公共交通となっている。自宅から乗車し、降車場所は町内8か所となっているが、降車場所の増設について検討する必要がある。